

設立趣旨書

1 趣旨

少子高齢化社会の日本では、高齢者の増加とともに、生活習慣病を始めとする慢性疾患が増加し、社会経済を圧迫すると予想されます。一方、社会を支える現役世代の数は急速に低下することから、新しい若者が高い教育を身につける以外に、来るべき危機を乗り越える事は出来ません。オール・アバウト・サイエンス・ジャパン(AASJ)は、1) 患者団体の支援、2) 若者の生命科学教育を通じて、来るべき危機の克服に寄与しようと考えています。

有志の一人である代表の西川は、京都大学、熊本大学での教育、研究、また文科省大学法人化委員会を通して教育問題に、またミレニアムプロジェクト、種々の政府委員会、神戸医療産業都市に関わる事で、医学・医療の問題に「官」の立場から関わるとともに、日本全国の患者団体と交流を深めて来ました（神戸地区の団体としては、しみん基金こうべ等との交流を開始し、難病団体連絡協議会との交流を開始）。

今回、法人として申請するに至ったのは、他の志を同じくする者が集まり、引き続きこの二つの課題に関わっていかうと考え、上に挙げた2つの目標を、「民間」の立場から可能な全てのことを追求するため、特定非営利活動法人「オール・アバウト・サイエンス・ジャパン」の設立が最適と考えたからです。

この法人は、医療分野では、

- 1) 難病患者さん達自身の手によるソーシャルネットワークを構築し、それを基礎に医師や研究者も巻き込むような強力な患者組織の育成を支援していくことを目指します。
- 2) 専門の再生医学、基礎医学および難病治療と医薬の研究開発を中心とする調査、イベント企画、コンサルテーションを行います。

また、教育分野では

- 1) 高校生から若手研究者を対象に科学の良書を、企画、コンサルテーションを行います。
- 2) 世界の良書を翻訳紹介するため、元研究者の翻訳集団の結成と本を出版します。
- 3) 医学生物学領域での調査・コンサルティング事業を行います。

またこれらの活動で得られる収入は、患者会等の活動の支援と、本法人の拡大による専門集団の育成に利用します。

法人化することにより、これまで私たちが30数年培った医学研究・医学教育・医学行政での経験を生かした財源の確保が可能であり、その財源を基に患者会等と医療行政・社会との架け橋になることができ、社会に大きく貢献できると考えます。

2 申請に至るまでの経過(神戸での活動を中心として)

平成14年より	1型糖尿病友の会・日本脊髄基金との交流の開始
平成20年より	しみん基金神戸等との交流の開始し、神戸市難病連に協力して第1回未承認薬等検討会議に難病治療薬他の開発要望書を提出
平成21年より	FOP明石、(特非)神戸市難病団体連絡協議会などとの交流の開始
平成23年8月	神戸市難病連に協力して第2回未承認薬等検討会議に小児難病治療薬の開発要望書を提出
平成24年12月	申請準備開始
平成25年1月	設立総会を開催

平成25年1月20日

特定非営利活動法人オール・アバウト・サイエンス・ジャパン
設立代表者 住所又は居所

兵庫県神戸市中央区山本通2丁目5番3-704号

氏名 西川 伸一